

令和4年(2022年) 上半期概況

令和4年 上半期入域観光客数

370,090人

対前年比 170.1% 217,536人

令和4年 上半期観光消費額

340.2億円

対前年比 199.6% 170.4億円

国籍別入域観光客数(上半期総計)

日本	370,090人	前年同期比	対前年同期比
前年同期	217,536人		170.1%
外国	0人	前年同期	0人
前年同期	0人		-
国籍	観光客数	前年同期比	
台湾	0人	-	
香港	0人	-	
マカオ	0人	-	
中国(上記以外)	0人	-	
韓国	0人	-	
アジア(上記以外)	0人	-	
その他諸外国	0人	-	

島別入域観光客数(上半期総計)

石垣市		
島名	観光客数	対前年比
石垣島	365,997人	171.0%
竹富町		
島名	観光客数	対前年比
竹富島	127,593人	213.2%
西表	67,314人	231.3%
西部	24,961人	142.9%
小浜島	53,456人	182.6%
黒島	8,224人	145.9%
波照間島	13,653人	137.1%
鳩間島	1,533人	108.9%
新城島	181人	-
加屋真島	368人	127.3%
計	297,283人	194.3%
与那国町		
島名	観光客数	対前年比
与那国島	16,325人	125.4%

年間入域観光客数・消費額推移

暦年	入域観光客数	観光消費額
平成元年(1989年)	301,592人	210.億円
平成2年(1990年)	327,104人	229.億円
平成3年(1991年)	401,376人	281.億円
平成4年(1992年)	426,242人	298.億円
平成5年(1993年)	425,925人	298.億円
平成6年(1994年)	432,010人	346.億円
平成7年(1995年)	442,140人	354.億円
平成8年(1996年)	447,886人	448.億円
平成9年(1997年)	524,824人	500.億円
平成10年(1998年)	517,908人	515.億円
平成11年(1999年)	602,027人	552.億円
平成12年(2000年)	599,343人	508.億円
平成13年(2001年)	578,978人	511.億円
平成14年(2002年)	613,362人	440.億円
平成15年(2003年)	695,681人	501.億円
平成16年(2004年)	715,777人	499.億円
平成17年(2005年)	751,182人	524.億円
平成18年(2006年)	771,838人	549.億円
平成19年(2007年)	787,502人	543.億円
平成20年(2008年)	782,749人	529.億円
平成21年(2009年)	732,594人	473.億円
平成22年(2010年)	725,635人	457.億円
平成23年(2011年)	660,510人	413.億円
平成24年(2012年)	713,058人	443.億円
平成25年(2013年)	942,964人	580.1億円
平成26年(2014年)	1,121,622人	656.1億円
平成27年(2015年)	1,115,051人	643.3億円
平成28年(2016年)	1,248,079人	788.6億円
平成29年(2017年)	1,386,646人	850.1億円
平成30年(2018年)	1,379,715人	945.7億円
令和元年(2019年)	1,482,153人	981.9億円
令和2年(2020年)	651,747人	500.0億円
令和3年(2021年)	552,430人	436.1億円
令和4年(2022年)	370,090人	340.2億円

令和4年(2022年) 上半期入域観光客数 概況

令和4年8月8日

2022年上半期(1月~6月)の八重山入域観光客数は、対前年比70.1%増(152,554人増)の370,090人。観光消費額推計は、対前年比99.6%増(169.8億円増)の340.2億円。

【全体】

・2022年上半期は、沖縄県や一部地域においてまん延防止等重点措置が適用されていた時期もあったが、行動制限がない時期もあったことや減便規模の縮小やワクチン接種が普及していることから、上半期合計では前年同期を上回った。

【国内路線】370,090人 対前年比70.1%増(152,554人増)

・2022年上半期は、沖縄県や一部地域においてまん延防止等重点措置が適用されていた時期もあったが、行動制限がない時期もあったこと、県外直行便及び県内便の減便規模の縮小やワクチン接種が普及していることに対し、昨年同期には沖縄県や一部地域で緊急事態宣言措置やまん延防止等重点措置が適用されていたことから、前年同期を上回った。

【海外路線】0人 対前年比0%減(0人減)

・空路では、香港エクスプレス、チャイナエアラインの運航休止により、入域客は無しであった。  
・海路では、クルーズ船の寄港休止により、入域客は無しであった。

【その他】

・2022年上半期は、沖縄県や一部地域においてまん延防止等重点措置が適用されていた時期もあるが、行動制限がない時期もあったこと、減便規模の縮小やワクチン接種が普及していることから、前年同期よりも入域観光客数は増加した。下半期は、継続的な旅行需要の回復が期待されるものの、コロナウイルス感染症の新規感染者数の増加に伴い国による全国旅行支援の実施が延期になったことなどから、状況を注視していく必要がある。

路線別・3旬別入域観光客数推計

	令和3年上半期		令和4年上半期		比較(令和4年/令和3年)				
	観光客数	構成比	観光客数	構成比	増減数	対前年比			
国内路線	空路	東京(羽田)	63,441	29.2%	116,794	31.6%	53,353	184.1%	
		大阪(関空)	31,068	14.3%	57,630	15.6%	26,562	185.5%	
		神戸	0	0.0%	0	0.0%	0	-	
		名古屋(中部)	10,775	5.0%	26,856	7.3%	16,081	249.2%	
		福岡	3,171	1.5%	16,271	4.4%	13,100	513.1%	
		小計	108,455	49.9%	217,551	58.8%	109,096	200.6%	
		県内便	那覇	103,368	47.5%	143,446	38.8%	40,078	138.8%
		宮古	5,713	2.6%	9,030	2.4%	3,317	158.1%	
		小計	109,081	50.1%	152,476	41.2%	43,395	139.8%	
		チャーター便	0	0.0%	63	0.0%	63	-	
	合計	217,536	100.0%	370,090	100.0%	152,554	170.1%		
	海路	クルーズ船	0	0.0%	0	0.0%	0	-	
	合計	217,536	100.0%	370,090	100.0%	152,554	170.1%		
海外路線	空路	香港	0	0.0%	0	0.0%	0	-	
	台湾	0	0.0%	0	0.0%	0	-		
	チャーター便	0	0.0%	0	0.0%	0	-		
海路	クルーズ船	0	0.0%	0	0.0%	0	-		
合計	0	0.0%	0	0.0%	0	-			
空路計(国内路線+海外路線)	217,536	100.0%	370,090	100.0%	152,554	170.1%			
海路計(国内路線+海外路線)	0	0.0%	0	0.0%	0	-			
上半期合計	217,536	100.0%	370,090	100.0%	152,554	170.1%			

月別入域観光客数・消費額推移

単位:人・億円

	令和2年		令和3年		令和4年		比較(令和4年/令和3年)	
	観光客数	消費額	観光客数	消費額	観光客数	消費額	観光客数	消費額
1月	93,227	64.3	23,532	18.3	38,673	35.5	164.3%	194.0%
2月	85,176	64.6	20,391	16.0	31,223	28.8	153.1%	180.0%
3月	79,075	62.9	56,209	44.6	79,241	73.9	141.0%	165.7%
4月	13,016	10.2	51,509	41.1	73,573	68.7	142.8%	167.2%
5月	5,528	4.1	38,743	29.6	69,937	63.1	180.5%	213.2%
6月	25,249	19.2	27,152	20.8	77,443	70.2	285.2%	337.5%
7月	53,282	42.9	49,271	40.2	0	0.0	0.0%	0.0%
8月	40,745	32.7	54,347	44.2	0	0.0	0.0%	0.0%
9月	46,577	37.3	39,113	31.7	0	0.0	0.0%	0.0%
10月	72,224	55.5	59,826	46.2	0	0.0	0.0%	0.0%
11月	74,896	58.3	64,721	50.7	0	0.0	0.0%	0.0%
12月	62,052	48.0	67,616	52.7	0	0.0	0.0%	0.0%
計	651,747	500.0	552,430	436.1	370,090	340.2	170.1%	199.6%

